

# 農林水産委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 令和元年9月2日(月)～9月4日(水)

## ◆調査先・調査内容

### ①青森県議会(青森県青森市長島)

調査内容：県産りんごの輸出促進について

青森県のりんご生産量は全国りんご生産量の50%以上を占めており、同県の産業経済において重要な役割を果たしている。海外へは2万トン近くりんごが輸出されており、特に台湾では、青森りんごの大きさ、色、味、形が評価され、旧正月の贈答用商品としての需要が高い。

同県では、「青森県輸出・海外ビジネス戦略」において、りんご及びりんごジュースを最重要品目と位置付け、台湾、香港、タイを継続して積極的に取り組む重点国・地域、シンガポール、インドネシア等の東南アジア等を輸出拡大の可能性のあるチャレンジ国・地域としている。輸出コストの分、日本国内より価格が高くなるが、価格に見合ったブランド品質を確保し、他国産との違いをPRしている。

今回の調査では、輸出促進の体制や、県と輸出関係団体が連携して行っているプロモーション、国ごとの好みや課題等について調査を行った。

<主な質疑等>

- ・商標や新品種の保護について



### ②男鹿・潟上地区園芸メガ団地(秋田県秋田地域振興局)(秋田県男鹿市船越)

調査内容：園芸品目の生産拡大、園芸経営の担い手育成について

秋田県は全国有数の「米どころ」であるが、米の消費量が年々減少していく状況を受けて、水稲偏重の農業からの脱却を図っており、野菜や花き等の園芸作物の生産・販売の強化を推進するため、県独自の「園芸メガ団地育成事業」により、大規模園芸団地を県内各地に集中的に整備している。

「園芸メガ団地」は原則として1か所に団地化(ただし、「ネットワーク型」や「サテライト型」もある。)し、野菜や花きで年間1億円の販売額を目指すものであり、県内各地に実施地区を広げている。

今回調査した男鹿・潟上地区園芸メガ団地は、平成26年度に整備され、営農主体は9経営体(平均年齢30歳代)である。地域の農業人材の確保・育成を目標の一つとしており、スマート農業の実証実験にも取り組んでいる。

今回の調査では、園芸メガ団地の事業の進め方や営農者を参入しやすくする工夫、整備後の効果などについて調査を行った。

<主な質疑等>

- ・各営農者とJAの役割分担について



### ③一般社団法人秋田県貿易促進協会（調査会場：秋田市旭北錦町（秋田県商工会館））

※協会所在地は秋田市山王

調査内容：県産農林水産物の輸出促進について

一般社団法人秋田県貿易促進協会は、秋田県及び県内市町村や県内企業・団体等を会員として平成16年に設立された。県経済のグローバル化に対応するため、秋田県企業と海外との取引機会の拡大を図ることにより、貿易の拡大及び海外における事業活動の円滑化を図ることを目的としている。

事業としては、①海外商談会の実施や海外見本市への出展支援等の海外とのビジネス交流の支援、②専門アドバイザーによる相談対応や各種セミナーの開催等の県内企業への普及促進活動、③県内港湾・空港活用のためのポートセールス、④県内関係機関や海外とのネットワーク構築に取り組んでいる。

今回の調査では、米、魚介類、木材等の農林水産物や日本酒、味噌・醤油、うどんなどの加工品の輸出促進の取組について調査を行った。

<主な質疑等>

- ・競合する他県との差別化について
- ・秋田杉や日本酒の輸出ルートについて



### ④あきた県産品プラザ（秋田市中通）

調査内容：県産品の販路拡大について

「あきた県産品プラザ」は、秋田の銘菓、食品、酒類、民芸品の販売、商品企画開発、物産展等のイベント実施などを行う株式会社秋田県物産振興会が運営する直営店舗である。秋田駅から徒歩5分、大通り沿いの立地で約4千点の特産品をそろえており、県外からの来訪者が秋田県の特産品をまとめて見ることができる。

今回の調査では、店長から説明を受けながら店内を見て回り、施設の概要や展示の状況について調査を行った。伝統的な工芸品や特産の菓子はもちろんのこと、秋田犬やユネスコ無形文化遺産となったナマハゲの関連商品など、時宜を得た商品の展示も行っており、様々なタイプの来訪者に秋田県の魅力を伝える工夫が確認できた。

<主な質疑等>

- ・運営会社の経営状況、県の関与について
- ・当プラザ以外の取組について



## ⑤秋田空港（秋田市雄和椿川字山籠）

調査内容：県産材の活用について

秋田県では、平成31年4月に開設した秋田県動物愛護センター「ワンニャピアあきた」でCLTを活用するなど、県産材を使った公共施設の木質化に取り組んでいる。今回の調査で利用する秋田空港においても内装の木質化が行われていることから、待ち時間を活用して木質化の状況を見学した。

柱や様々な技法による飾り壁のほか、天井照明、テーブル、商品陳列棚などにも秋田杉が使われており、木目の活かし方など、秋田杉の特長を実際に確認することができる。また、空港内の秋田杉の利用箇所について説明するパネルを設置することにより、杉が様々な内装に利用可能であることが、空港利用者にわかりやすく紹介されていた。

